

入試情報

入 試 日	願 書 提 出	合 格 発 表	内 申 点 計 算 方 法
■学力検査: 3/8(火)~9(水)	2/18(木) ~23(火)	3/16(水)	1年学期末9教科の5段階 +2年学期末9教科の5段階 +3年1・2学期9教科の5段階×2 =180点満点

教育のプロ
トライさん



傾向

一般入試では、学力検査と内申点の評価の他に、一部の学校では、面接や適性検査が課されます。各学校で学力検査と面接の比重は異なるので、**志望校の合格基準点に対して現状がどのくらいかを把握し、レベルに応じた対策をとる必要があります。**

1日目に国語、理科、英語の学力検査を、2日目に数学、社会の学力検査と適性検査や面接を実施します。

入試問題は、どの科目も基礎問題約6割・応用問題約4割の構成となっています。どの分野で得点を取るのかを明確にして、勉強に励むようにしましょう。近年の傾向として、特定の高校に志願者が殺到することがあります。倍率が1.2倍を超える学校では、合格には基準点+20点ほど必要です。昨年の志望校の倍率がどの程度だったか確認しておきましょう。

科目別対策

英 語

大問5題で構成。そのうち、リスニング、対話文読解、長文読解で8割の配点がある。対話文と長文は文章が長いので、時間を計りながら速く読む練習をしておくこと。整序問題は教科書レベルの基本問題が出題されると想定される。単語力・文法力・速読力・リスニング力は、どれもすぐに身につくものではないので、毎日英語に触れて、対策をすることが大切です。

数 学

大問7題で構成。方程式・関数・規則性・図形など各分野からバランスよく出題される。図形問題は、平面・空間ともに、証明など難度の高い問題が出題される。割合や速さなどは、標準問題で基礎力を磨いておくことよい。また、方程式などの計算問題では、途中式や考え方の記述力が求められるケースがあるため、日頃から途中式を省かずに書く練習をしておくこと。

国 語

大問4題構成。論理的文章、小説もしくは随筆文、古典と2000字の課題作文という構成。現代文の配点が高く、全体の7割を占める。また、漢字の読み書きは毎年出題される。文章中の言葉を抜き出す問題が多いので、普段から文章の意味を正確に読み取ること意識して演習に取り組もう。作文は短文を読んで意見を書く形式が多いので、自分の考えをまとめる練習を積んで対策すること。

理 科

大問6題構成。物理、化学、生物、地学の各分野と、小問集合、融合問題（もしくは環境）が出題される。記述式の問題の配点がとても大きいので、単語の暗記だけでなく、原因や理由を自分の言葉で書けるように練習をしておくこと。教科書に載っているレベルの内容が多いので、しっかりと教科書を読み込んでおくこと。計算問題も多く出題されるため、ミスなくスピーディに解けるよう、公式を覚えよう。

社 会

地理、歴史、公民の各分野から大問が2題ずつ、計6題出題される。どの分野も万遍なく出題されるので、基本用語は確実に覚えておくこと。3分野すべてで記述問題が出題されるので、必要なキーワードを覚え、問題集を使って記述の練習をしよう。また、資料を読んで解答する問題も頻出なので、グラフの見方や、着目すべき点を把握しておく必要がある。